

Toride Art Project 通信 2006

こんにちは、
取手アートプロジェクトです。

準備号
Vol. 10

特集

今年もTAPはやります!!

TAP2006はこうなる

ゲストプロデューサー・インタビュー
野村誠／藤本由紀夫／ヤノベケンジ

TAP活動紹介 こどもプログラム
TAPエンジェル募集!!

TAP【タップ】って何？



TAP = Toride Art Project (取手アートプロジェクト)の略。

99年より続く市民と取手市、東京芸術大学の三者共同によるアートプロジェクトです。若いアーティストたちの創作発表活動を支援し、市民のみなさまに芸術とふれあう機会を提供することで、取手市が文化都市として発展していくことを目指しています。

今年も、TAPはやります！

●今年のタイトルは「一人前のいたずら——音とかたちの仕掛けあい」

音とかたち。音を使った作品、かたちの作品、音とかたちの両方を使った作品……などさまざまな作品が取手の街中で現れ、仕掛けあいます。TAPスタッフも、核心をつく鋭さを持ちながら思わず笑ってしまうような、そんな「いたずら」を仕掛けられるように、そして取手のまちを刺激するような企画になるように、入念な準備を進めています！

●テーマカラーはオレンジ!!

TAP2006のテーマカラーはオレンジ色です。今年、取手のまちでオレンジ色を見つけたら、要チェック!「オレンジ」といえば、元気な色、新鮮、ジューシー、ちょっとアグレッシヴ、目立つ、etcのイメージ。この色には、明るくて、元気のある、そして積極的なTAP2006にしたい!というスタッフの思いがこもっています。(この色を決める会議の所要時間は、なんと2時間!) そんなスタッフたちは毎年テーマカラーの服や文房具を集める傾向があります。今年も色が決まってから、オレンジ色のものを身につけたり、何気なくしのばせたりする人が続出!スタッフに出会ったらぜひオレンジを探してみてくださいね。

※TAP2006の本展会期は、

2006年11月11日(土)～26日(日)の金・土・日・祝 —計9日間—

TAP2006ウェブサイト <http://www.toride-ap.gr.jp>

今年のTAPは何かが違う。

あなたの参加を待っています!!

8年目を迎えるTAPは、「アーティストによる市街アート展」という殻を破ります。

街に「音」を感じるアートを仕掛けるアイデア・企画募集
応募課題:「街・音・かたち」

●だれでもアーティストになれる!?

今年のTAPでは、みなさんのアイデアや作品プランを募集します。もちろんアーティストからの表現プランも公募しますが、今年はアートを使った表現経験のない方からの応募も大歓迎! 自分のアイデアをアーティストと一緒にかたちにしてみませんか?

応募締め切りは8月13日(必着)。詳細はTAP2006ウェブサイト、または公募説明会(下記インフォメーション欄参照)にて。みなさまからのご応募をお待ちしています。

●未知なる共同作業へ

今年のTAPでは、野村誠(作曲家)、藤本由紀夫(サウンド・アーティスト)、ヤノベケンジ(現代美術家)をゲスト・プロデューサーとして迎えます。この3人のプロデュースのもと、公募で集まったいくつものアイデアや人びとの共同作業によるプロジェクトが、11月の取手で展開します。(次のページからはゲスト・プロデューサーインタビュー特集)「音」と「かたち」から発想される素敵なアイデアや作品プランをお待ちしています。わくわくするようなことを一緒にやってみませんか?

インフォメーション
information

TAP2006 公募説明会 開催概要

現地の下見および企画概要の説明会をおこないます。

〈日時〉第1回:2006年7月16日(日) 13:00~ / 第2回:7月30日(日) 13:00~

〈集合場所〉カタクラショッピングプラザ 5F TAPサテライトギャラリー前

〈参加申込〉E-mailまたはFAXでお申し込みください。

タイトルに「下見会参加申し込み」と明記の上、参加希望日時 / 氏名(ふりがな) / 住所 / 電話 / FAX / E-mailをお知らせください。
TEL / FAX: 0297-72-0177 (TEL: 火・金 13:00~17:00)
E-mail: tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp

TAP2006ゲスト・プロデューサー インタビュー 野村 誠

のむら まこと
(作曲家)

1968年10月4日生まれ てんびん座
血液型はたぶんAかO型

現代における音楽の可能性を追求する音楽家。
鍵盤ハーモニカでの路上演奏や、老人ホームでの共同作曲など、既存の演奏空間を飛び出した音楽活動を精力的におこなう。



インタビュー企画、まず一人目は、作曲家の野村誠さんです。市内の某ファミリーレストランでおこなったインタビューでは、野村さんの“いたずらの美学” (?) なども飛び出す内容となりました。

——取手の印象はいかがですか?

野村さん(以下敬称略): インドネシアのジャワ島みたいなところですね。ジャワの人は他人を放っておくことをしないんですね。…取手もそんな印象です。それから、自転車が多いなあと。

——TAP2006タイトル「一人前のいたずら——音とかたちの仕掛けあい」にちなんで質問。こどもの頃にいたずらをしてましたか?

野村: いつもいたずらしてましたよ。

——よくしたいたずらにはありますか?

野村: …いたずらというものは、パターンになっていたらいけないんじゃないですか? いたずらは常にクリエイティブでなければいけないんですよ。いつも同じだったらおもしろくないですよ。

——最近ハマっていることはありますか?

野村: 最近でもないですけど、天体観測は好きですね。この間また新しい望遠鏡を買って、夜中に道に出してのぞいたりしています。でも、天文マニアの人にもっと教えてほしいと思いますね。もっといろんなものを見たいです。

——最後に今年のTAPに向けてひとこと。

野村: おもしろいことしたいですね。とにかくおもしろいことしたいです。

——はい、ありがとうございます。ぜひ一緒におもしろいことを企てていきたいです!

野村さんがTAP2006で、どんなおもしろいことを仕掛けてくれるのか、見逃す手はありません! 野村プロジェクトはもうすでに動き出しています。今年のTAP、ご期待ください♪

(インタビュー: 土屋歩)

TAP2006ゲスト・プロデューサー インタビュー 藤本 由紀夫

ふじもと ゆきお
(サウンド・アーティスト)

1950年 名古屋生まれ
双子座 A型

ごくありふれた物の組み合わせで音とモノが一緒に存在する状態の作品を置き、空間によって変化する『サウンド・アート』を生み出している。音を「出す」ことではなく「聞く、発見する」ことを観客に意識させる。



6月5日、TAPスタッフと取手での初顔合わせ。取手市内の風景を見ていただいたり、藤本さんに作品のレクチャーをしていただいたりして、夜はスタッフが愛を込めて皮から手作りの餃子パーティーをしました！

——取手の印象はどうでしたか？

藤本さん（以下敬称略）：普通の街のようで、外国の街のようでもある。

——「一人前のいたずら——音とかたちの仕掛けあい」というタイトルに対してどう思われますか？

藤本：いたずらはあまり気づかれずにやるもので、親切にしすぎると、いたずらではなくなってしまうのではないかと思います。仕掛けというものは、まず仕掛ける側がワクワクしないと伝わらないので、最後までワクワク感を持続させることが大事だと思います。

——小さいころにした、いたずらは？

藤本：いろいろしたと思うのですが、具体的な記憶がありません。それほどくだらないことばかりやっていたのだと思います。

——最近のマイブームは何ですか？

藤本：遅ればせながら村上春樹。

——TAP2006に向けてひとこと。(意気込みなど)

藤本：いつもどおりです。

チョコには人一倍のこだわりがある藤本さん。その時食べていたチョコの袋には「食は愛」との文字が書かれており、そこから愛についてのお話で盛り上がりしました。

藤本さんの作品は体験することで参加者が発見を得る作品です。早くも具体的な作品プランが出てきていて、11月への期待は高まるばかりです！

(インタビュアー：中山亜美)

TAP2006ゲスト・プロデューサー インタビュー ヤノベケンジ

やのべけんじ
(現代美術家)

1965年大阪生まれ いて座
B型 ヘビ年

幼少期、大阪万博終了後の跡地を遊び場とした記憶から、「未来の废墟」への衝撃と何も無いからこそ何でも始められるという思いで制作を続ける現代美術家。



今回、みんなでわいわいご飯を食べながらヤノベさんの素顔にちょっぴり迫ってみました。

——まずは世間話から、ヤノベさんの最近のマイブームは？

ヤノベさん（以下敬称略）：やー、それは言われへんなあ。秘密です。

(普段は本当に作品作りに没頭しているためご趣味などはあまり思いつかないそうです。)

——今年のTAPのタイトルは「一人前のいたずら——音とかたちの仕掛けあい」なのですが、ヤノベさんは小さい頃いたずらっ子でしたか？

ヤノベ：うん。今でも。

——例えばどんないたずらを？

ヤノベ：う～ん、大人になってから秘密基地みたいなんはようつくってるけどね。

(確かにヤノベさんの作品にはこどもの命令だけしか聞かないロボットや、こどもしか入れないサイズの「森の映画館」など、こども心をくすぐるものばかり。「森の映画館」では実のお父様が「トラヤン」というチョビヒゲ、バーコードのおじさん顔の人形を操って腹話術をする映像を流していました。ヤノベさんのご家族は揃って愉快な方々のよう。)

今回の取手滞在で企画をおこなう場所を探すために市内を巡ったヤノベさん。候補地の一つとして訪れた旧戸頭終末処理場は、何かを強く訴えかける場所だったようです。11月に向けて、ここをご自分の舞台にすることを決めたヤノベさん。…いったい何が起こるのでしょうか？取手が彼の手によっていたずら心溢れる遊び場に変貌する、その日が来るのがとっても楽しみです！

そんなわくわくする予感を秘めながら、ヤノベさんと過ごす夜は更けていくのでした。

(インタビュアー：林絵梨佳)

TAP ってどんなことしてるの？



TAP では取手にアートを届けるさまざまな活動をおこなっています。ここではその活動の一部をご紹介します。

今回はこどもプログラムにスポットを当ててみました！

市内小中学生を対象とする「こどもプログラム」。

その二本柱は、「児童画展」と「アーティストの学校派遣」です。

〔児童画展〕1999 年から続いている企画。取手市内全小学校の1年生約 900 人に絵を描いてもらい、TAP の本展会期中の 11 月に市内で全員の絵を展示します。また、展示会場に来てくださった方々に、作品へお手紙を書いてもらうという企画も実施。自分の絵に手紙がもらえて、こどもたちにも好評です。

〔アーティストの学校派遣〕こどもたちが芸術に触れる機会をより多く提供するため、昨年度から実施しているプログラム。学校の授業にアーティストを派遣し、児童画展出品作品の制作をサポートするなど、さまざまなワークショップをおこなっています。

●●●こどもプログラム担当者より●●●

「こどもプログラム」の企画運営をおこなうこども班は、目下、小学校を訪問し、現場の先生と対話しながら今年度のプランを考えています。こども班の魅力は、こどもの「発見」や「表現」の場に立ち会えることだと思います。日々新しい出会いに触れているこどもたちの体験を共有することは、私たちのとっても大きな気づきになるでしょう。

今年度の TAP のタイトルは「一人前のいたずら ― 音とかたちの仕掛けあい」。児童画展も本展との関わりを感じるものにしたいと思います。そのために、こどもたちにどんな投げかけをしたらよいのか。私たちの思索は続きます。(桐畑晴樹)

TAP エンジェル募集!!



TAP エンジェルは主に個人向けの、資金面での TAP 支援制度です。

一口 2000 円から気軽に参加でき、エンジェルに登録された方には、エンジェル証やカタログ、イベントのご案内などが届きます。2006 年度は、新しく「ゴールドエンジェル」を新設しました。支援金一万円以上の方が対象で、特典もプラスアルファ！

申し込みと希望の方は E-mail または FAX にてお問い合わせください。折り返しご連絡させていただきます。

●●●エンジェル担当者より●●●

TAP やアートプロジェクト、まちづくりに興味はあるけど、一緒に何かをやる時間はない…そんな方にはぜひエンジェルをお勧めします！アートプロジェクトへの参加のかたちはさまざまです。一緒に TAP を作りあげませんか？少しでも多くの方に、TAP を身近に感じていただけたらと思います。(竹内緑)

TAP2006

●取手でひらくアートの扉●

今年新たな試みを始めたTAP2006。TAP通信もいろいろなことにチャレンジします！活動紹介だけでなく、いったいどんな人がTAPで働いているのか、みなさまにわかるよう「顔の見えるTAP通信」を目指します。慣れないことばかりで四苦八苦の準備号、楽しんでいただけたでしょうか？次号はいよいよ今年度の第1号をお届けしたいと思います。お楽しみに！（林絵梨佳）

TAP通信2006 一取手でひらくアートの扉一

Vol.0 準備号 2006年7月4日発行

【発行】取手アートプロジェクト実行委員会

〒302-0004 茨城県取手市取手3-4-11カタクラショッピングプラザ5F

【連絡先】TEL/FAX:0297-72-0177(火・金 13:00～17:00)

E-mail:tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp <http://www.toride-ap.gr.jp>

【編集】小野健太郎 土屋歩 林絵梨佳 坂東愛

【デザイン】小笠寺朋絵 林絵梨佳

取手アートプロジェクト2006

【主催】取手アートプロジェクト実行委員会

茨城県南地域「創造のまち」支援事業実行委員会(インターンシップ制度「TAP塾」)

【協賛】キリンビール 株式会社/株式会社 新六本店/取手ロータリークラブ

【助成】文部科学省「現代的教育ニーズ」取組支援プログラム(サテライトギャラリー等)

財団法人 地域創造

【協力】カタクラショッピングプラザ

平成18年度 文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業

TAPはみなさまからのご支援により成り立っています。
ご支援いただいた方には「TAPエンジェル」として、特典をご用意しています。

